

ベトナム社会科学院所属 Dr. Phan Cao Nhat Anh氏との研究会「東アジア情勢と日越（日本 - ベトナム）関係」を実施

2024年10月28日（月）、立命館大学東アジア平和協力研究センターではベトナム社会科学院からDr. Phan Cao Nhat Anh氏を招聘し、研究会「東アジア情勢と日越（日本-ベトナム）関係」を実施いたしました。

この研究会は、激変する東アジア情勢において日越関係が持つ役割などコンテンポラリーな話題をベトナム社会科学院のDr. Phan Cao Nhat Anh氏と議論できる機会を作るべく設けられました。特に、朝鮮半島事情とベトナム関係に著名な礒崎敦仁氏をオンラインで招聘し、現場に集まった専門家と共に東アジア情勢にベトナムがバランスャーとしての役割を果たせられる可能性などを議論しました。直接ベトナムの研究者を招聘し、東アジア情勢に関して異なる視座からの知見を直接聞くことができた意義な研究会となりました。

立命館大学東アジア平和協力研究センターでは言語や分野に囚われず、様々な研究団体との学術交流を積極的に行っております。

●詳細

日時 2024年10月28日（月）16:30-18:30

会場 立命館大学衣笠キャンパス SO401

主催 立命館大学東アジア平和協力研究センター

後援 韓国国際交流財団（KF）

●参加者

Dr. Phan Cao Nhat Anh (Deputy Director General, Vietnam Institute for South Asia, West Asia and African Studies, Vietnam Academy of Social Sciences)

礒崎敦仁（慶応義塾大学法学部 教授）

中戸祐夫（立命館大学国際関係学部 教授）

渡辺宏彰（立命館大学国際関係学部 教授）

森 類臣（摂南大学国際学部 准教授）

駒見一善（立命館大学国際教育推進機構 准教授）

張 瑛周（立命館大学東アジア平和協力研究センター 特任助教）

生駒智一（立命館大学コリア研究センター客員研究員）

宋 基榮（立命館大学コリア研究センター客員研究員）

SUH HEEYOUNG（立命館大学コリア研究センター客員研究員）

立命館大学東アジア平和協力研究センター主催研究会

東アジア情勢と 日越（日本-ベトナム）関係

2024.10.28 (月) 創思館S0401
16:30 - 18:30 (衣笠キャンパス)

SPEAKER

Dr. Phan Cao Nhat Anh (ファン・カオ・ニャット・アイン)

ベトナム社会科学院南アジア・西アジア・アフリカ研究所副所長 (Deputy Director General, Vietnam Institute for South Asia, West Asia and African Studies, Vietnam Academy of Social Sciences)。博士。日本社会論、主に福祉政策を専門としており、日本研究のキャリアは20年以上となる。近年は、西南アジア諸国のみならず、アフリカを含めた国際関係についても活発に研究をすすめている。ニュース番組などのメディア出演も多数あり、国際関係の解説を担当している。

COMMENTATOR

磯崎敦仁先生（慶應義塾大学法学部）

慶應義塾大学商学部中退。在学中、上海師範大学で中国語を学ぶ。慶應義塾大学大学院修士課程修了後、ソウル大学大学院博士課程に留学。在中国日本国大使館専門調査員、外務省専門分析員、警察大学校専門講師、ジョージワシントン大学客員研究員、ウッドロー・ウィルソンセンター客員研究員を歴任。著書に『北朝鮮と観光』（毎日新聞出版）、『最新版北朝鮮入門』（東洋経済新報社、共著）など。



東アジア平和協力研究センター / 1
Center for East Asian Peace and Cooperation Studies, Ritsumeikan University



お申込みはこちら

フライヤー

アイン先生「結び」より

「日本とベトナムは、中国と米国の戦略的バランスの変化が東アジアの安定と安全保障に悪影響を及ぼさないよう、協力することができるだろう」

「ベトナムと日本は、より緊密に協力することによって、戦略を再調整しなければならない。ベトナムと日本の包括的戦略的パートナーシップの合意は、こうした傾向を明確に示すものであった。」

ベトナムの

竹外交：根はしっかり、身は固く、枝はしなやかな外交
包括的戦略的パートナーシップ

中国、ロシア、インド、米国、韓国、日本



当日の写真